

●タナクロオープニングに松かさツリー、竹エンピツ作りで参加 81 人が参加 3 月 23 日

今度新しく、京田辺クロスパーク(タナクロ)が田辺中学校や田辺警察署の南側に田辺公園の新エリアとしてオープンしました。農業体験ができるという公園で農福連携をテーマにしているそうです。3 月 23 日には文化協会が主催で京田辺市民文化フェスティバルが開かれ、本会では松かさツリーと竹エンピツを体験してもらい、81 人の参加があり盛り上がりました。



松かさツリー作り



竹エンピツ

●3 月 20 日(木)・22 日(土) 里山農園にて

春分の日だった 20 日(祝木)の午後は 3 号地にジャガイモの植付け(男爵 132 株、メークイン 24 株)を行いました。参加者は 10 名で幅広い世代の方が参加してくれました。天候不順や獣害などにあわずにたくさんの実りが地面下にできることを願っています。

農園部会だより
じゃがいもの植付け

22 日(土)は 8 名が集まり、小屋周辺の草刈りや作物への水やり、ヤマトサンショウウオの確認、ジャガイモ、大根、ニンジンなどの植付けなど参加者それぞれが幅広い活動を行いました。1 号地の足跡については、柵の穴をくぐり抜けることができるような小動物だろうということでした。かぼちゃやジャガイモ、サツマイモなどの獣害が昨年までに発生しています。作物が育ってきたらネットをかけたり、超音波やライトなどで寄せ付けないようにしたりするなど、大きな作業負担なく動物と共存できるような対策をしなければなりません。



ジャガイモの植付け (20 日)



小屋周辺の草刈り (22 日)

●里山農園で 3 月 13 日中学 2 年生の吉村開君が発見したオオムラサキの幼虫の写真

里山の会が発足して間もないころコメづくり体験や木炭生産のお手伝いを行っていた時、国蝶のオオムラサキがこの谷に生息してるらしいとの話から探索が始まり、冬の昆虫観察としてオオムラサキの幼虫調査を開始して数回発見しました。しかし、ここ数年発見できず絶滅してしまったのだろうか心配していましたところ、今回吉村君によって 2 匹発見されました。画期的な快挙として評価されます。



●京都水族館からヤマトサンショウウオの卵嚢受取に副館長が来所 3月24日(月)

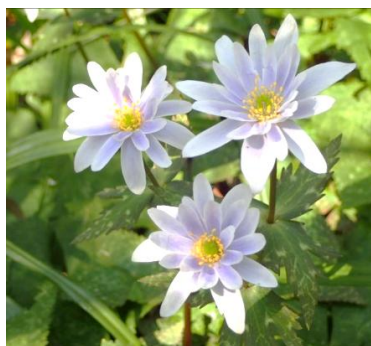


里山の会がカスミサンショウウオの卵嚢を発見したのは2007年でした。そして昨年3月に第二の生息池を発見しました。その間アライグマやイノシシなどの害獣被害対策と水問題に頭を悩ましながら維持のための活動を続けてきました。このたび京都水族館で飼育している個体だけでは近親交尾の問題があるのでと相談があり、新しく発見された

場合お譲りすることを決定しました。ところが昨秋からの雨が少なく池が干し上がってしまい産卵が確認できませんでしたが、ようやく水が溜まり産卵があつて1対お譲りできました。

●ユキワリイチゲ 300本が生育 木津川希少種植生調査で確認

ここではこれまで、これほど多くの開花に出会う機会に恵まれませんでした。植物部会の皆さんの執念でこれだけのものが見事に開花し、その環境が維持されていることを証明してくださいました。画期的なチャンスです。植物部会のみなさん遠方まで出かけていただきご苦労様でした。



●4月12日(土)に開催する春の野草を食する会の準備を開始

4月になって暖かさが本格的になると野草の多くが芽吹き始めるこの時新芽を摘み取り元気をいただきます。里山の会は「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンを掲げた頃から延々と開催を続けてこられた楽しい取組です。多くの皆様ワイワイとたくさん集まってひと時を過ごしませんか。少雨決行で教育棟の大屋根の下で行います。準備の関係で参加者は申し込んでいただくと有難いです。準備は50人程度でお断りさせていただいてきましたのでご注意ください。和え物や天ぷらなどに加工いたします。



●親子乗船花見体験を実行します。 4月5日(土) 10:00~14:30まで

3月26日の気温は京田辺市で23度になりました。この調子が続くと桜のつぼみも芽を開けてくれるのではないのでしょうか、大変待ち遠しいですね。さて新年度最初の取組は馬坂川での親子乗船花見体験を開催いたします。昨年に引き続いて10人乗りのEボートの参加がありませんのでカヌー5艇を準備いたします。もちろん馬坂川には1m程度の深さで200mのプールを西部土地改良区の協力実行します。4人乗りのゴムボートも2艇用意します。桜の花は横から眺めるだけでなく



く下から眺めるのもいいものです。ご参加をお待ちしています。混雑が予想されるので事前申し込みをお願いいたします。